

太陽経済について (1)

くにうみアセットマネジメント株式会社は太陽経済の事業化を目的に2012年に設立されました。

『太陽経済』とは、太陽から得られるエネルギーを活用し、技術・英知によって、人類の生存に必要なエネルギー・食糧・水を人類が100億人になっても全人類に行きわたらせ、共存共栄できる新しい経済を意味し、弊社の代表取締役社長の山崎養世が提唱した言葉です。

さまざまな領域を超えた協業関係者で太陽経済の確立を目指し、2009年に一般社団法人 太陽経済の会が設立されました。日本と世界における太陽経済・地域/街づくり・多次元ネットワークの実現化、産業発展に取り組んでいます。



Save Humanity

太陽経済の理念
人類を救い、人間性を守る

一般社団法人 太陽経済の会 WEBサイト
<https://www.taiyo-keizai.com/>

【太陽経済の会 主な活動事例】

太陽経済実現についてのシンポジウム



2011年6月28日 (2011年3月11日東日本大震災の3か月後)
太陽経済かながわ会議 ～今、始まる。ソーラー革命！～

第1部 トップセミナー 『太陽経済実現への戦略』

1. 実行委員会挨拶 黒岩祐治 (神奈川県知事)
山崎養世 (太陽経済の会 代表理事)
2. 挨拶 持田文男 (神奈川県議会 議長)
3. ビデオメッセージ 中曽根康弘 (元内閣総理大臣)
4. 特別セッション 『太陽経済が日本を救う』
コーディネーター：黒岩祐治 (神奈川県知事)

パネリスト：

- 小宮山宏 (三菱総合研究所 理事長、東京大学 総長顧問)
- 孫正義 (ソフトバンク 代表取締役社長)
- 南川秀樹 (環境事務次官)
- 山崎養世 (太陽経済の会 代表理事)

敬称略、当時役職

太陽経済について(2) 主な活動事例

日本最大級のメガソーラープロジェクト組成 事業化

2019年春完成予定。

岡山県瀬戸内市錦海塩田跡地、広大な市の遊休地265haが『太陽のまち』として再生

- ・発電規模：235MW
- ・一般家庭約7万世帯分の消費電力に相当する電力を供給
- ・瀬戸内市のCO2総排出量の約半分、年間192,000tの削減効果
- ・総事業費約1,100億円



太陽経済 セミナー主催

2017年2月20日 『農政新時代と日本のゆくえ』
講師 衆議院議員 自民党農林部会長 小泉進次郎氏



政党、行政への要望

2015年8月21日 自民党林政小委員会

経産省の木質バイオマス発電の回避可能費用見直しの再検討を要望



中国での太陽経済普及・ネットワーク

2016年10月19日 北京

Photovoltaic Conference and Exhibition of China 2016

山崎養世が(PVCEC：世界太陽光発電協会)の基調講演



Trina Solar Ltd. 会長兼CEO 高紀凡氏

2016年11月 太陽経済の会がGEIDCOのGEIDCO 会長
元国家電網元会長の劉振亜(Liu Zhenya)氏の推薦により会員に



GEIDCO 会長
劉振亜(Liu Zhenya)氏

GEIDCO

(Global Energy Interconnection Development and Cooperation Organization)
中国国家電網が主宰する世界的な組織で送電分野の大企業や著名な研究機関が会員でロシア、韓国政府機関も参加している団体で今後の送電網の国際展開と再生可能エネルギーの推進母体。